

まほら

2021.05 No.02

スポーツを楽しもう！がんばれ高校総体！

まほら館では、今月から始まる「鹿児島県高校総合体育大会」応援企画として、スポーツに関連する本を展示しています。

今年は例年より早い梅雨入りや、新型コロナウイルス流行のため、生で観戦することはできなくても、室内で楽しめるスポーツをしたり、スポーツに関する本を読んだりして過ごしてみませんか。

○高校バスケットは頭脳が9割 なぜ同じ高校生なのに「差」が生まれるのか！？

バスケットIQが高まる強化書

三上 太 著 (東邦出版)

5人の現役監督の方々の染みる言葉などが載っているので自分にとってためになる言葉を見つけられるかもしれません！



○勝つ人 13人のアスリートたち

武井 壮 著 (文藝春秋)

戦いの最前線に立った12人のアスリート。勝つ人、勝たたい人、勝とうとしてる人、勝たせる人、勝った人。

12人がどのように「勝ち」へ向かったのか。



出張まほら館について

図書部では、年間目標として「全校生徒が1年間に15冊以上借りること」を掲げ、その具体策として、出張まほら館を毎月2回程度実施することを決定しました。これまで通り、8:10~8:30間、各学年の階にて行うので、ぜひ利用してください。

まほら館での貸出と同様、1人5冊まで借りることができます。貸出期間は1週間となっていますので、期限を守るようにしてください。出張まほら館では、返却や延長もできますので、図書部員に申し出てください。

次回以降は6月1日(火)、6月15日(火)を予定しています。



錦江湾高校推薦図書2021

『錦江湾高校推薦図書』とは、先生方が選ぶ高校生のみなさんに読んでほしい本です。今年度の錦江祭でも、『錦江湾高校推薦図書』を先生方の紹介文とともにまほら館にて展示します。先生方が紹介された様々なジャンルの本をぜひこの機会に手に取ってみませんか？



福永校長先生

教室はまちがうところだ

著者 蒔田 晋治作, 長谷川 知子絵
出版社 子どもの未来社



～大切なことは転ばないことじゃない
転んでもすぐに立ち上がって走り出すこと～



早崎教頭先生

模倣の時代

著者 板倉 聖宣 著
出版社 仮説社



欧米の文明の模倣に始まった明治以降の日本が脚気という欧米にはない病気に対峙した時、薩摩藩出身の若き軍医、高木兼寛はどのように行動したか？幕末から昭和に至る期間にわたる多くの資料を基に「ビタミン×戦争×森鴉外」を軸としたたのしくためになる物語です。

